山梨県立韮崎工業高等学校 第２回学校運営協議会　議事録

令和８年１１月１０日（火）１５：５０～　本校視聴覚室

会議目的

- 前期教育活動報告（教務・生徒指導・進路指導）
- 学校評価（中間評価）の報告
- 意見交換

１．前期教育活動報告（要点抜粋）

（ア）教務関係

在籍者数、全体の学習状況及び多様な生徒への学習支援について報告。読み書き等に困難を抱える生徒や外国籍生徒への合理的配慮の取組について説明があった。

委員からは、拡大教材や個別支援の工夫、電子教材の活用、入学時の丁寧なアセスメント等について意見が出された。

（イ）生徒指導関係

交通安全指導、問題行動の発生状況及びいじめアンケート結果について報告。問題行動への対応に加え、外部機関との連携や教員加配の必要性について意見交換を行った。

委員からは、各機関からの外部講師の活用や地域・企業を含めた継続的な人材育成の重要性が示された。

（ウ）進路指導関係

求人状況、就職内定状況及び卒業生の離職状況について報告。県内外とも求人は増加傾向にあり、製造業への就職が中心であることが説明された。

委員からは、インターンシップの在り方や離職防止に向けた支援、ハローワークの活用等について意見が出された。

２．学校評価について

令和８年度学校評価中間結果について報告があった。生徒・教職員とも概ね良好な結果であり、昨年度と比較して改善が見られた。一方で、家庭学習への取組など一部課題も示され、年度末評価に向けて改善を進めることが確認された。

３．意見交換（要点抜粋）

- 多様な生徒への支援について、個々の特性に応じた合理的配慮や支援体制の充実が必要であるとの意見があった。
- 問題行動への対応について、学校だけでなく家庭・地域・企業・警察等との連携を強化することの重要性が共有された。
- 進路指導について、早期離職防止のため、卒業後も相談できる機関としてハローワーク等の活用を周知することが提案された。
- 施設設備に関して、実習室等への空調設備（クーラー）の設置を要望する意見があった。
- 問題行動への対応強化のため、生徒指導に係る教員加配及びスクールカウンセラー体制の充実を求める意見があった。

以　上